

LRQA独立保証声明書

東レ株式会社の GX リーグに提出される 2025 年度温室効果ガス排出量データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて東レ株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、東レ株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、GX リーグに提出される 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の会社の温室効果ガス（GHG）排出量データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社における運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 報告書が以下を参照しているかどうかのレビュー
 - GX リーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価

環境¹

- スcope 1 GHG 排出量（トン CO₂e）
- スcope 2 GHG 排出量 [マーケット基準]（トン CO₂e）

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- GX-ETS における GHG のモニタリング・報告の基準である GX リーグ算定・モニタリング・報告ガイドラインに従って報告書を作成していない
- 下表 1 に記載された会社の GHG 排出量データについて、正確で信用できるパフォーマンスデータを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準²、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

表 1. 東レ株式会社の 2025 年度 GHG 排出量データ

スcope	
スcope1 GHG排出量	1,303,420 tCO ₂ e
スcope2 GHG排出量 [マーケット基準]	185,585 tCO ₂ e

¹ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

² 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。